

**第8次大阪府栽培漁業基本計画(令和4～8年度)における  
魚種ごとの放流数量(案)**

## 1 栽培漁業の目的

水産資源の維持・増大と漁業生産の向上を目指すための府の重要施策

## 2 魚種選定の観点

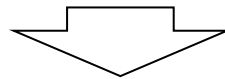
①漁業者の要望	②科学的見地	③施設の能力等
・漁業者アンケート	・漁獲量、資源評価 ・知見(定着性等) ・関連施策・課題 ・7次計画での放流効果	・技術レベル ・施設の能力 ・生産育成経費

これらから総合的に判断

## 3 放流数量(計画満了年度目標)

(現) 第7次 計画	区分	魚種名	計画数量	放流時の大きさ
	放流	ヒラメ	100 千尾	全長 80mm
	放流	キジハタ	100 千尾	全長 80～100mm
	放流	アカガイ	100 千個	全長 30mm
	技術開発	トラフグ	—	—

H27～R3 ※サワラは他県との連携放流魚種として別途放流  
(7年間)



(新) 第8次 計画 R4～8 (5年間)	区分	魚種名	計画数量	放流時の大きさ
	放流	ヒラメ	100 千尾	全長 80mm
	放流	キジハタ	110 千尾	全長 80～100mm
	放流	アカガイ	50 千個	殻長 30mm
	放流・技術開発	トラフグ	50 千尾	全長 70mm
技術開発	メバル	—	—	